

編集後記

お忙しいところ原稿をお寄せ下さった著者の皆さま、どうも有難うございました。おかげさまで情報科学会誌 15 巻 1 号をお届けすることができました。来年度は学部の再編があり、情報科学部情報科学科から理工学部情報科学科に変わりますので、次号から理工学会誌になるのか、今年度分の活動報告をするという意味で情報科学会誌をまた発行するのか、この編集後記を書いている時点では決まっておりません。今年度で編集委員を退任しますので、来年以降の学会誌がどういったものになるのかを一読者として楽しみにしております。(朝廣)

研究業績・学会活動の記録、お送りくださって有難うございました。皆様の活動の広がり分かり、短い部分ながらよく我々の学部を表していると思いました。(アブドゥハン)

執筆された皆様、編集委員の皆様、お疲れさまでした。執筆者として担当した貸与 PC の変遷は、さすがに15年分ということもありスペックの違いなど調べていてなかなか興味深かったです。ちなみに写真はすべて新たに撮影したもので、初代の 2002 年度の PC も無事起動しました。学部新設の頃が思い出され、懐かしい気持ちになりました。(合志)

ご寄稿くださった皆様には、執筆はもちろん、脱稿後にも印刷に必要なファイルの提出や校閲に快くご協力いただきました。あらためて御礼申し上げます。

また、今年は目立つ災害の多い年でした。被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。併せて今後の無事をお祈りいたし

ます。こうして編集後記など書いていますが、考えてみれば出版前に何かが起きて中止になることもありうるわけですから、書いたものが無事に紙の上に載るということはそれだけで幸いであるとあらためて思います。

さて、私自身について言えば編集委員は今回で通算3回目です。今回は朝廣編集長の死角の無い計画と的確な指示のおかげをもちましてかつてなく円滑に作業を進めることができました。来年もこうだったらいいなと思います。来年もぜひ。さておき、編集委員の先生方、お疲れ様でした。(古井)